

地域創生に向けた研究・マーケティング事業の推進

1. 目的・・・IT利活用による地域創生に向けた調査・研究

➤ 地域経済の活性化の視点

地域経済活性化への取り組みは、“需要を増やし、生産性(地域としての)を高める”ことである。このため、新たなビジネスモデルやマーケティングを創出し、各企業や自治体のイノベーションへの積極的な取り組みを図る。

➤ 地域コミュニティの活性化の視点

地域において様々な社会問題が顕在化・深刻化する中で、地域自らが地域課題を認識・共有し、それらを自主的・主体的に解決する力“地域共生力”の醸成・向上を図っていく必要がある。基盤となるのは、地域コミュニティの活性化であり、そのための施策を実行していく。(地域住民自らが課題解決していくことがポイント)

2. 事業概要と成果

2022年度の活動は、研究会講師による5件のセッションをオンライン開催し、IT利活用による地域活性化及び地域産業活性化に向けた産・学・官の取り組み事例のスタディとディスカッションを行った。また、「デジタル田園都市国家構想」の動向を踏まえた活動を行った。

- ①「静岡市の海洋産業クラスター形成に向けた取り組みについて」(静岡市経済局・産業政策課)
- ②「デジタル政策の取り組みについて」(東北経済産業局製造産業・情報政策課)
- ③「地域振興に向けた産学官による水産業活性化の取り組み」(日東製網・技術部)
- ④「地域創生とIT～ワーケーションの活用～」(アステリア・エバンジェリスト)
- ⑤「岩手県DXと働き方改革 ことはじめ～民間との連携で～」(岩手県・企業連携アドバイザー)

